

深く、また広く泌尿器がん診療が経験できます

泌尿器科は外科的診療部門の一部であるため、手術治療を中心に行いますが、対象臓器が他科とオーバーラップしないため、診断や内科的治療も重要です。前立腺癌を中心に泌尿器がんは罹患数が増加しているものが多く、当科における症例数は大変豊富です。

手術治療に関しては小切開、腹腔鏡及びロボット手術の認定医（指導医）による低侵襲手術を中心にっており、対象も腎、副腎、尿管、膀胱、前立腺、精巣など範囲が広く、術式もバラエティーに富んでいます。低難易度手術はレジデントが執刀の中心になります。症例数が多いため、毎週複数の手術で術者を務めることが可能です。研修期間によりますが、中難易度手術もスタッフの指導のもと、執刀の機会があります。

当院では2020年度に最新鋭の手術支援ロボット『ダビンチXi』を導入しました。本邦においてロボット支援手術は当科が中心的役割を担っており、当科でも年間60～70例のロボット支援下前立腺手術を経験できます。

内科的治療に関しては、腫瘍内科医や放射線治療医との連携のもと、化学療法や放射線療法を行っています。化学療法は抗癌剤、分子標的薬及び免疫チェックポイント阻害剤を中心に多種のレジメンが経験できます。放射線治療も早期癌の根治療法や進行癌の緩和療法など多彩です。また緩和科との連携にて、終末期の患者さんとも積極的に関わります。

また当科は獨協医科大学との連携下にあるため、様々な専門分野において、学会発表や論文作成などの学術活動も行えます。

泌尿器科は対象臓器が多く、疾患、治療も多彩で大変裾野の広い診療科です。また診断から治療、また終末期まで一貫して一人の患者さんと深く関われる点が魅力です。当科の魅力をお伝えできる日が来るのを楽しみにしています。

スタッフ

- ◆ **貫井 明徳**
 - ・日本泌尿器科学会認定専門医・指導医
 - ・日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
 - ・日本内視鏡外科学会腹腔鏡技術認定医
 - ・ロボット支援手術施行資格
 - ・ロボット支援手術プロクター（手術指導医）
 - ・日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会
腹腔鏡下小切開手術施設基準医
 - ・日本がん治療認定医機構認定医

- ◆ **倉科 凌**
 - ・日本泌尿器科学会認定専門医

- ◆ **間宮 大輔**

- ◆ **吉田 茉樹**

週間スケジュール

	朝	午前	午後	夕方以降
月	病棟回診	手術	手術	病棟回診
火	病棟回診	外来	外来	病棟回診
水	病棟回診	外来	生検、小手術	病棟回診
木	病棟回診	手術	手術	病棟回診
金	病棟回診	外来	生検、小手術	病棟回診
土・日		病棟回診 (交代制)		